

シンビジウムの4月の管理について

1 かん水

エルメコノズル等を利用した頭上かん水を主体とし、水のかかりが悪いところはホースによる手かん水を併用してかん水ムラを防ぎます。

回数は2日に1回、時間はエルメコノズルで10～15分間を目安とし、鉢底から水が充分に流れる程度にたっぷり与えます。

回数やかん水時間は、品種やリードバルブの生育状況により加減してください。

2 施肥

開花株は油カスを月1回、7号鉢で20g、8号鉢で30gを基準に施用します。但し、肥料に敏感な品種は、窒素分を控えめに管理しましょう。

ロング等の緩効性被覆肥料も利用でき、3～6か月に1回の施用でよいため省力的です。施肥量は窒素成分量で、その期間中に与える油カスと同程度を目安とします。

3 温度管理

年内出荷予定の品種は、夜温を高め管理し、新芽の生育を促してください。

日中は25℃以上にならないように換気し、花茎の軟弱化や落蕾を防止しましょう。

4 病害虫対策

(1)ハダニ類

高温・乾燥が続くと発生が助長されるので、気象情報に注意し、初期防除を徹底してください。

(2)カイガラムシ類

寄生した株を持ち込まないように注意し、日当たり、風通しを良くしましょう。

密度が高くなる前に、幼虫を対象に防除します。複数の生育ステージが混在するため、数回に分け防除を行きましょう。

(3)腐敗性病害

過剰施肥による根傷みに気をつけ、発病株は見つけ次第ハウスから出し処分してください。